

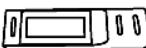
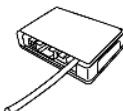
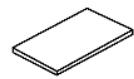
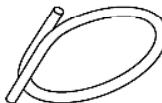
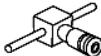
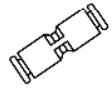
INSTALLATION MANUAL

取扱説明書

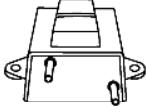
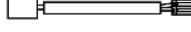
BLITZ

Since 1981, Blitz has revolutionized the
automotive industry by tuning every aspect
of the motor vehicle

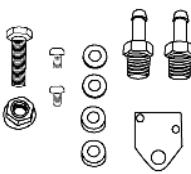
■ C O N T E N T S	1
■ パーツリスト	2
■ 安全上のご注意	3 ~ 4
■ お取り付け前に	5
■ 取り付け手順と方法	6 ~ 9
■ 操作方法	10 ~ 15
■ 車種別取付データ	16 ~ 25
2JZ-GTE/4E-FTE	16
4G63/RB26DETT	17
SR20DET/RB25DET	18
VG30DETT/VQ30DET/VQ25DET	19
1HD-FTE/1JZ-GTE	20
1JZ-GTE/3S-GTE	21
EJ20	22
EJ20/RB20DET	23
K6A/JB-DET/EF-DET	24
13B-REW	25
■ 故障と思う前に	26
■ お問い合わせ先	27

	 ※アルミプレートがつきます		
コントローラーディスプレイ 1	CPUユニット 1	メインハーネス 1	両面テープ 1
			
φ6ホース 1M 1	φ4 ナイロンチューブ 2M 1	ジョイントTパイプ 1	ホースジョイントφ4用 1
			
クレセントクランプφ6用 4	タイラップ 5	スライス 2	取扱説明書 1
			
保証書 1			

■ TYPE Rのみ

			
ソレノイドバルブTypeR 1	変換ハーネス 1	ソレノイド固定用ショートバーツ 1	

■ TYPE Sのみ

			
ソレノイドバルブTypeS 1	ソレノイド固定用ショートバーツ 1		

－ 安全上のご注意 －

製品を安全にご使用いただくために『安全上のご注意』を良くお読みになってください。

表示項目の説明

	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

□必ずお読みになり、よくご理解ください。

- ・本製品はサーキットなどクローズドコースを走行する車両用に製造されています。SBCの機能をご利用いただくには、車両のパワーアップに付随する改造申請を各陸運支局で行ってください。改造申請を行わない状態で一般公道を走行する事は止めてください。
- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載しております。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
--	--

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。

換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。

- ・本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けないでください。

運転に支障をきたし、事故の原因になります。

- ・本製品は、車両電源がDC12V車で車体（ボディ）アースの車両専用です。

DC24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。

配線には適切なヒューズを取り付けたり、車体の端線部や他の電装品と接触するような配線とならないようにしてください。

- ・バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。

ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。

バッテリー固定金具やバッテリー端子取り付け用ナットは工具を使ってしっかりと固定してください。

- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。

ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、コネクタを取り外す際は本体の電源を切った状態で行ってください。製品故障の原因になります。

- ・本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。

そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。

- ・運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。

事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

- ・本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。

ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。

使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行って下さい。

－ 安全上のご注意 －



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車両装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。
- ・本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- ・液晶表示本体を長時間高温になる場所に放置しないでください。
60°C以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊されに黒くなることがあります。（冷蔵庫などで冷却すると復帰する場合があります）
- ・本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
事故・火災・感電・電装部品の破損・焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせて頂きます。
- ・高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。
感電、火災、電装部品の破損・焼損の原因となります。
- ・エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
- ・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- ・本製品は純正車両を前提に企画しております。
純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が出たりする可能性があります。
- ・液晶表示画面について
偏光サングラスを通して液晶表示画面を見ると、見る角度によっては画面が暗くなったり、歪んで見える事がありますのでご注意ください。

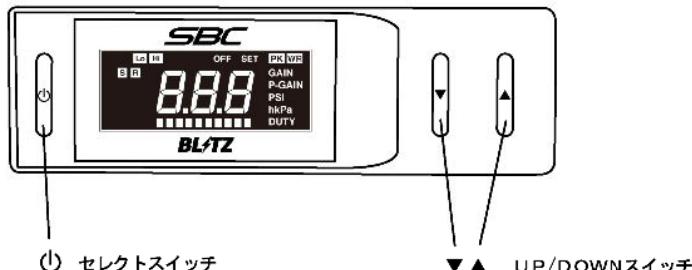


この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・排気バイパスの選択には十分に注意してください。
アクチュエータ（スイングバルブ）タイプとウェストゲート（ボベットバルブ）タイプがあります。誤った選択はタービンやエンジン、車両自体の破損にも繋がり大変危険です。
- ・過給圧（ブースト）の上げすぎには注意してください。
過給圧（ブースト）を上げ過ぎると、タービン・エンジンを破損する恐れがあります。過給圧の上げすぎによる不具合に関して、弊社は一切その責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・作動確認、ブースト設定は一般公道では絶対に行わないで下さい。
円滑な道路交通の妨げになったり、事故を招く恐れがあります。
- ・走行中に車両及び製品より異音・振動・異臭等の異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して専門業者にて点検・整備を行ってください。
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。
- ・本製品の装着により製品、及び車両本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。
そのままの状態で走行を続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。

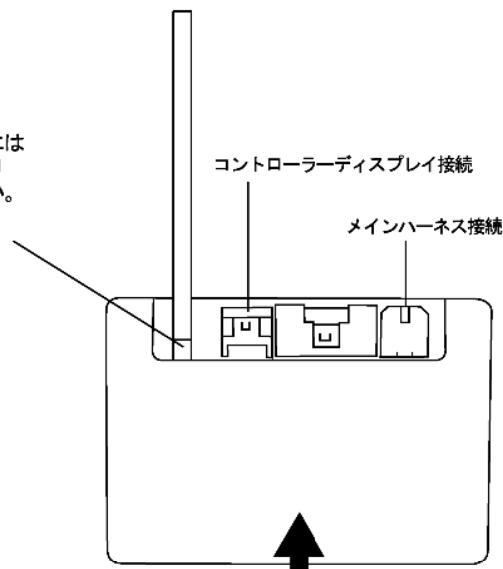
ー お取り付け前に ー

■コントローラーディスプレイ

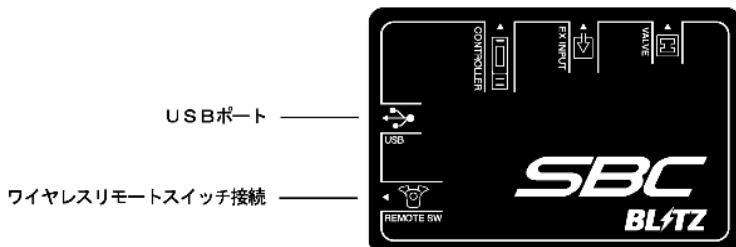


■CPUユニット

ナイロンホース根元部分には
引っ張ったり折り曲げたり
強い力をかけないで下さい。
破損の原因になります。



アルミプレートの両面テープを剥がしCPUユニットへ貼り付けてください。



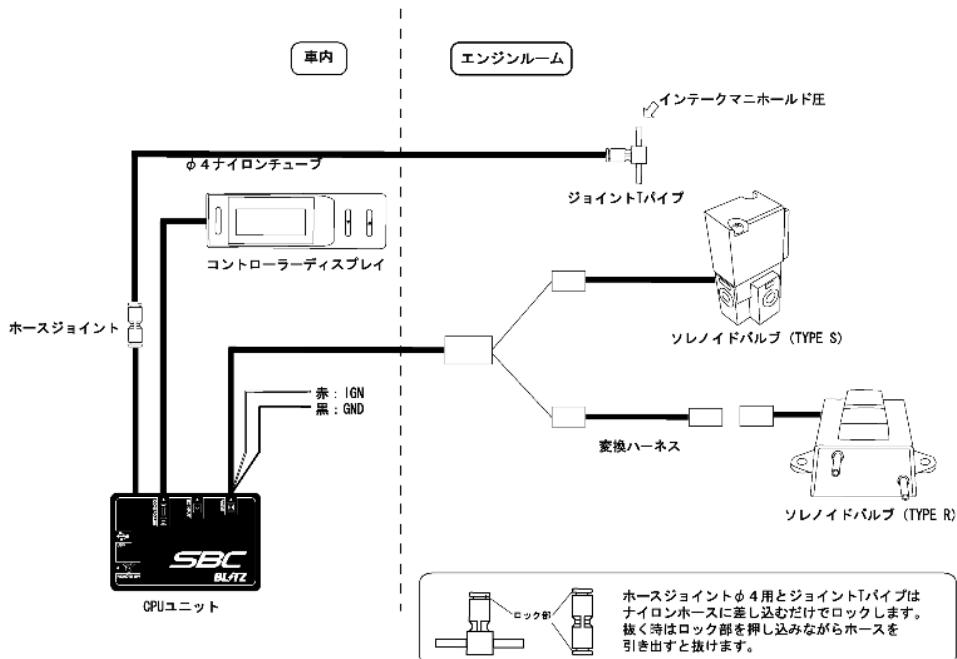
ー 取り付け手順と方法 ① ー

※本製品はDC 12V車両専用です。DC 24V車や12V仕様車以外の車両には取り付けを行わないでください。火災や車両破損の原因となり大変危険です。

■取り付け上のご注意

1. バッテリーのマイナス端子を取り外して下さい。
ショート等による電装品の損傷や火災を防ぐためです。
2. ソレノイドバルブへのホースの配管はINとOUTの区別がありますので間違いの無いよう注意して下さい。
配管ミスはエンジン、ターボチャージャー等の破損に繋がります。
3. 配管、配線がしっかりと固定されているか確認して下さい。
走行中に配管、配線が外れたりしますと運転に支障をきたし作動不良や事故の原因となります。
4. ホースの配管、メインハーネスは熱の影響を受けにくい場所を通して下さい。
熱によりホース、ハーネス等が損傷しエア漏れや作動不良の原因となります。
5. コントローラーディスプレイは運転上の、視界の妨げにならない場所、運転に差し支えの無い場所に取り付けて下さい。運転操作に支障をきたし事故の原因となり大変危険です。
6. 本製品を取り付けてブースト圧を上げる場合は、燃料の増量やブースト圧リミッターの解除
コンピューターのリセッティングが必要です。
コンピューター等のセッティング又はリセッティングは必ず専門の業者に依頼をしてください。

■全体外観図



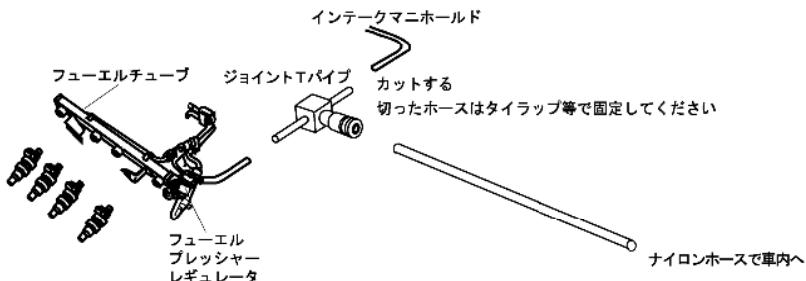
[アドバイス]

室内のCPUユニットの配置もバルブユニット同様に熱の影響を受けない場所で運転に支障の無い場所を選んでください。

各コネクタの抜き差しは必ず電源が入っていない状態で行ってください。

－取り付け手順と方法②－

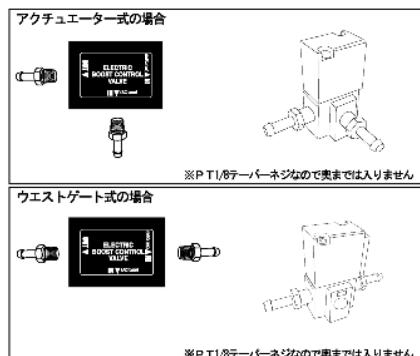
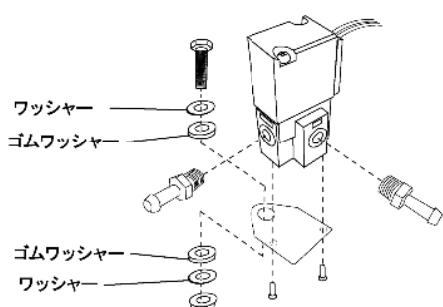
■インテークマニホールドへの配管方法



■バルブユニットの配管方法

●ソレノイドバルブ (TYPE S)

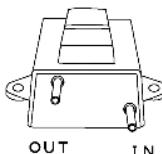
トップのプレートに習ってニップルを取付けてください。
アクチュエーターとウエストゲートで取付け位置が異なります。
キャップは全て外してください。



※ソレノイドバルブの特性上、振動や音が発生しますが製品の不良ではありません。しっかりと固定してください。
ホースは抜けないように付属のクランプφ6を使い固定してください。

●デュアルソレノイドバルブ (TYPE R)

本体刻印を良く見てIN/OOUTを間違えないように取付けてください。
デュアルソレノイドバルブでウエストゲートを制御する時のみ設定をG Tへ変更してください。(P15参照)

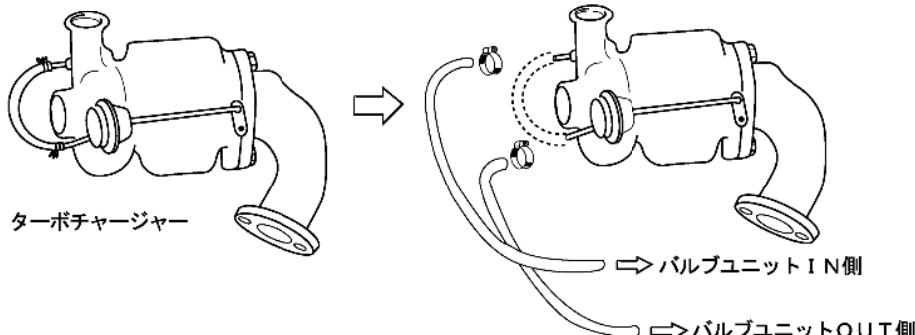


※ソレノイドバルブの特性上、振動や音が発生しますが製品の不良ではありません。しっかりと固定してください。
ホースは抜けないように付属のクランプφ6を使い固定してください。

ー 取り付け手順と方法 ③ ー

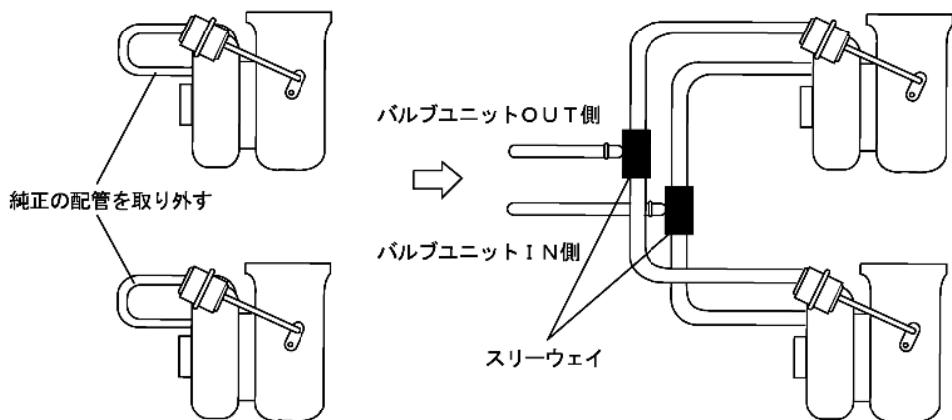
■アクチュエータータイプ（スイングバルブ）

<シングルターボの場合>



<ツインターボの場合>

*別途ツインターボアダプターキット（品番：14026）が必要になります。



■ソレノイドバルブの取り付け方法

- エンジンルーム内であまり高温とならず雨水等、水の影響を直接受けない場所に取り付けて下さい。
(出来る限りターボチャージャーからの配管が1M以内となる場所に付けて下さい。)
ハーネスやホースに過度なテンションがかからないように、またソレノイドバルブを引っ張るような事が無いようにレイアウトしてください。

ユニットの固定には付属のソレノイド固定用ショートパーツを使用してください。

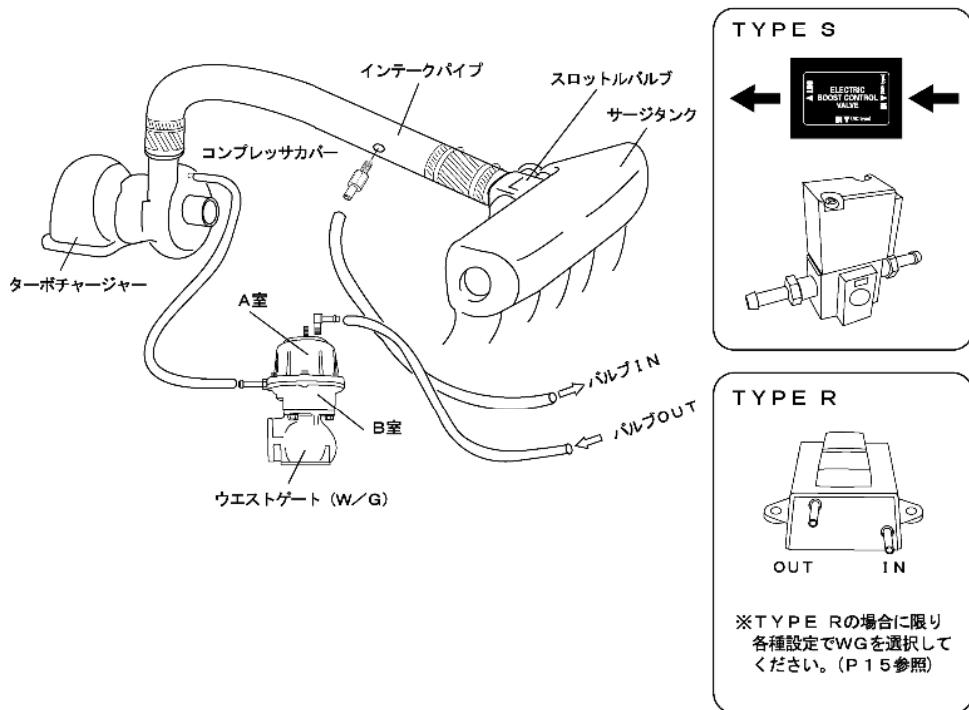
[アドバイス]

配管が長くなり過ぎると、応答遅れの原因となりハンチングやオーバーシュートが発生しやすくなります。

－取り付け手順と方法④－

■ウエストゲートタイプ（ポペットバルブ）

1. ターボチャージャー（コンプレッサー側）からスロットルバルブまでの間からブースト圧を取り出しバルブユニットのIN側へ配管しKIT付属のクランプで固定して下さい。
2. 下図にあるようにウエストゲートのA室をバルブユニットのOUT側へ配管しKIT付属のクランプで固定して下さい。
3. ウエストゲートのB室はバルブユニットのIN側と同じ圧力を掛けて下さい。
3WEY等でホースを分岐させて接続しても問題ありません。



※TYPE Rの場合に限り
各種設定でWGを選択して
ください。(P15参照)

※図ではターボから直接スロットルバルブへ吸気管がつながっていますが、実際はインタークーラーやブローオフバルブなどの補記類があります。図はあくまで配管図の概念を簡略化したものです。

以上が基本的な配管方法についての説明です。

詳しい車種別の配管方法に関しては巻末に記載しておりますので、そちらをご参照願います。

－操作方法①－

■ブースト圧の設定

- ▼▲でLoまたはHi、設定したいモードが点滅しているときに△を押します。
設定したいモードが既に点灯していたら2へ進んでください。



- ブースト表示モードで△を長押し(2秒)します。

- SETが点灯しDUTYを▼▲で調整し△を押します。(0~100)



- GAINを▼▲で調整し△を押します。(0~100)



- P-GAINを▼▲で調整し△を押します。(0~100)
0の時、P-GAINはOFF状態です。



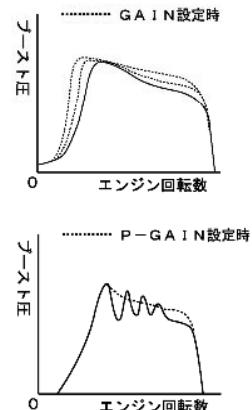
- SETが消えブースト表示モードに戻ります。

[アドバイス]

- DUTYは最大ブースト圧を決める項目です。
0~100数字が大きくなるにつれてブースト圧は上がります。
必ず低い数値から設定し、ブースト圧を確認しながら上げていってください。
数値を上げていくとオーバーシュートしやすくなります。

- GAINはブーストの立ち上がる反応と高回転時のブーストのたれを決める項目です。
0~100数字が大きくなるにつれて立ち上がりは鋭くなりますが
オーバーシュートやハンチングが発生しやすくなります。
抑えたい場合はGAINを下げてください。

- P-GAINはブースト圧がピークを過ぎた時点を読み取り
ブーストを安定化させる補正をします。
ブースト立ち上がりまでの制御には一切影響しません。
数値を大きくしそうすると補正が強く働きすぎ大きく上下する場合があります。
P-GAINを上下させて一番安定するポイントにセッティングしてください。



－操作方法②－

■ピーク表示モード

<アフターピーク>

1. ▼▲でPKが点滅しているときに↓を押します。
(PK点灯)



2. リアルタイムにブースト圧が表示されますが
ピークが更新されると3秒間数値が固定され点滅します。
ブースト圧が負圧領域に入るとアフターピークはリセットされ
再度、正圧に入りますとピークを点滅表示します。
3. ↓を押すとブースト表示モードへ。
▲を押すとピークホールド表示へ。(PK遅点滅)

※アフターピークでIGNOFFにした場合再度起動時はアフターピークにて立ち上がります。

<ピークホールド>

1. ブースト表示モード時に↓短押し、またはアフターピーク表示時に▼▲でピーク値が
確認できます。(PK遅点滅)
この画面はピーク値がリセットされるまで最大値を保持し続けます。

2. ↓を押すとブースト表示モードへ。

※記憶されたピーク値は▼▲の同時長押し(2秒)でリセットされます。
※LO/HIで別々に2種類記憶できます。

一 操作方法 ③ー

■ワーニング、ブーストリミッターの設定

- ▼▲でWRが点滅しているときに △を押します。
(SET点灯、WR点滅)



- ワーニングさせたいブースト圧を▼▲で設定し △を押します。
OFF~3.00 hPa (43.5 PSI)

WR設定中…WRが点灯
WR OFF…WR消灯

- 続いてリミッターの設定を▼▲で設定し △を押します。 (-99~100)

0 リミッターOFF状態



-99~-1 … ワーニング設定圧に達した時
DUTYを設定値分、下げて制御します（リミッター制御）

1~100 ワーニング設定圧に達した時
DUTYを設定値分、上げて制御します

※LO/HIで別々の設定になります。

<例> DUTY設定が50の時…

- リミッターを-20で設定すると
ワーニング設定圧に達した時30の制御になります。
- リミッターを20で設定すると
ワーニング設定圧に達した時70の制御になります。
※1以上で設定する場合スクランブル的にブースト圧が上がりリミッターとしての
制御とは異なりますので十分注意してください。

－操作方法④－

■スクランブル設定

- ▼▲でSが点滅しているときに ◇を押します。



- スクランブル起動時のDUTYを▼▲で調整し ◇を押します。 (0~100)
(SET点灯、S点滅、DUTY点滅)



- スクランブル起動時のGAINを▼▲で調整し ◇を押します。 (0~100)
(SET点灯、S点滅、GAIN点滅)



- スクランブル起動時のP-GAINを▼▲で調整し ◇を押します。 (0~100)
(SET点灯、S点滅、P-GAIN点滅)



- スクランブルの持続秒数を▼▲で調整し ◇を押します。
(OFF~99秒)



- SETが消えブースト表示モードに戻ります。

※スクランブルの設定はLOモード、HIモードで共用です。

<スクランブル起動方法>

スクランブルを起動させるには▲長押し(2秒)にて行います。

ピーク表示中や各設定中は起動しません。

別売のワイヤレスリモートスイッチから起動させることも可能です。

※ここで設定値をLO/HIモード設定値より小さくすることも可能ですが。
あくまでスクランブル作動中はここで設定値で制御します。

－操作方法⑤－

■リモートコントロール設定

別売 (15042 ワイヤレスリモートスイッチ) 接続時のみ使用可能です。
非接続時でも設定可能ですが動作はしません。

1. ▼▲でRが点滅しているときに ◇を押します。



2. ▼▲でCHとSCを切り替えます。
CH…LOモード、HIモードを切り替え
SC…スクランブルモードへ切り替え



3. ◇を押すとブースト表示モードへ戻ります。

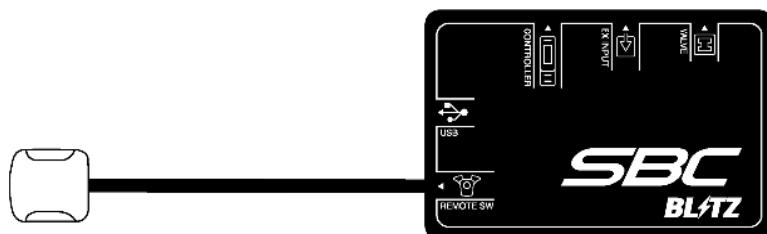
<レシーバーの接続>

レシーバーから出ているピンジャックをCPUユニットに接続します。
SBCの電源は必ずOFF状態にてコネクタの抜き差しをしてください。

<動作確認>

各種設定の中にリモートスイッチ動作確認項目があります。
(P15参照)
レシーバーの取り付け位置検討、通電確認が出来ます。

<レシーバー接続図>



－操作方法⑥－

■各種設定変更

- ▼▲でSETが点滅しているときに△を押します。



- SETが点滅しバーグラフが表示されます。
▼▲で輝度を調整し△を押します。



- ONまたはOFFと表示されます。
▼▲でブザー音のON/OFFを選択し△を押します。



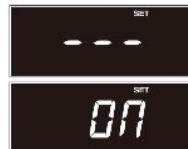
- hkPaまたはPSIと表示されます。
▼▲でhkPa/PSIを選択し△を押します。



- ACまたはGTと表示されます。
Typ e Rデュアルソレノイドでウエストゲート時のみ
GTに設定してください。
その他の場合は全てACを選択し△を押します。



- と表示されます。
リモートスイッチ接続時の動作状況確認が出来ます。
リモートスイッチのボタンを押した時ONと表示されます。
リモートスイッチの通電確認、レシーバー部取付位置検討にお役立てください。



- △を押すとSETが消えブースト表示モードに戻ります。

■OFFモード

- ▼▲でOFFが点滅しているときに△を押します。

- OFFが表示され電源が落ちます。



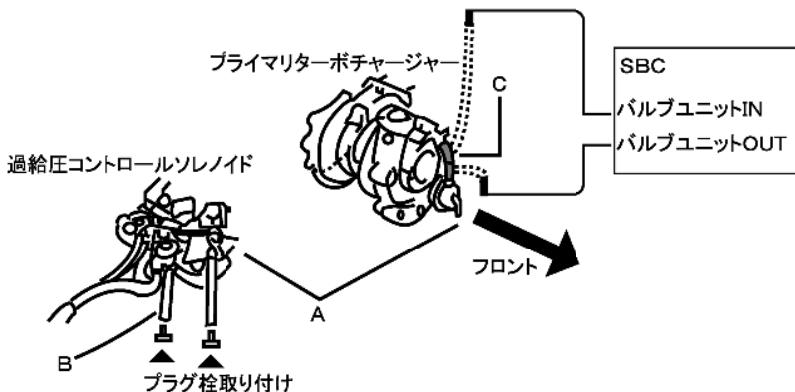
再度電源を入れるときは

セレクトを長押し(2秒)するとOFFと表示されます。
5秒以内に▼▲でLO/HIいずれかを選択し△を押します。

■車種別基本配管図

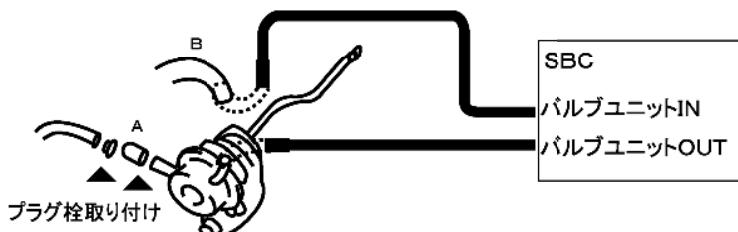
■2JZ-GTE (JZA80/JZS147/JZS161)

- ① 車両フロント側プライマリーポチャージャーのアクチュエーター（図中A）から2本配管が出ています。純正の過給圧コントロールソレノイドバルブに配管されている方（図中B）をカットし栓をしてください。
- ② アクチュエーターからターボのコンプレッサーに繋がるもう一方の配管（図中C）を取り外しコンプレッサーからバルブユニットのIN側に配管し、アクチュエーターからバルブユニットのOUT側に配管してください。



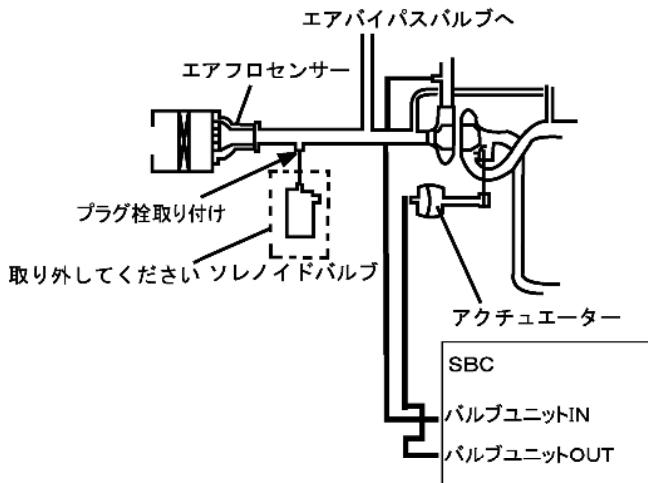
■4E-FTE (EP82/EP91)

- ① アクチュエーターから2本ある配管のうち（AとB）、純正のコントロールバルブ（VSV）につながる配管（図中A）を取り外し、栓をしてください。
- ② アクチュエーターから出ているもう一方の配管（図中B）を取り外し、ターボのコンプレッサーをバルブユニットのIN側に配管し、アクチュエーターをバルブユニットのOUT側へ配管してください。



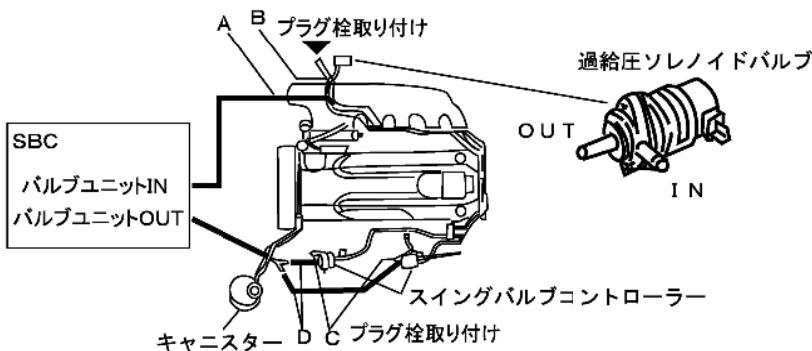
■ 4G63 (CN/CP/CT9A)

- ① 純正採用されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し下図のように栓をしてください。
- ② 付属の中6ホースを使用して下図のようにコンプレッサーのOUTとバルブユニットのIN側を接続してください。また、アクチュエーターとバルブユニットのOUT側を接続してください。
- ③ 純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をしてください。(エアフロセンサー後)



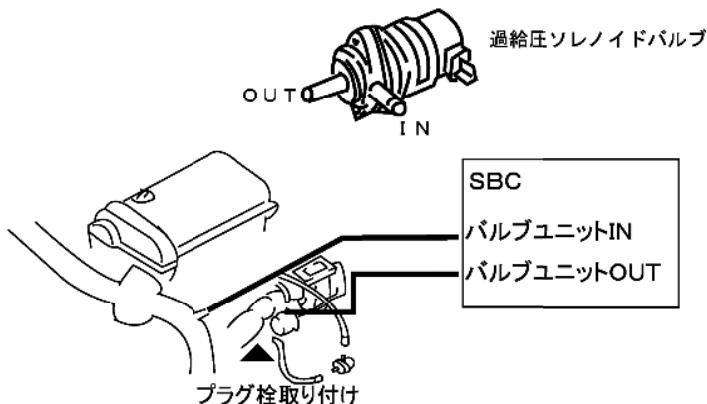
■ RB26DETT (BNR32/BCNR33/BNR34)

- ① 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブの2本の配管の内、下図IN側をゴムホースの根元部分から外し（図中A）付属のホースでバルブユニットのIN側へ配管してください。純正の過給圧コントロールソレノイドバルブの配管（図中B）はソレノイドバルブから抜き栓をしてください。
- ② 2つのターボチャージャーそれぞれに付属しているアクチュエーターの配管（図中C）を外し栓をしてください。また、それぞれのアクチュエーターから配管を引き（図中D）付属の3WAYで一つにまとめてバルブユニットのOUT側へ配管してください。



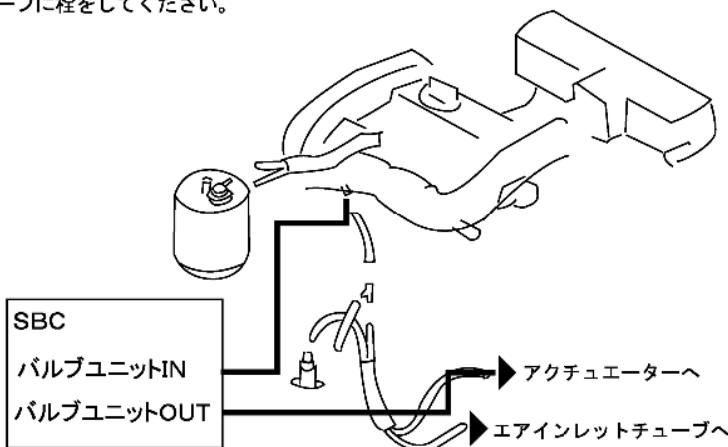
■ SR 20 DET (PS 13/RPS 13/S14/S15)

- ① 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し純正ソレノイドバルブを取り外してください。
- ② 付属のΦ6ホースを使用してインタークチューブとバルブユニットのIN側を接続してください。
また、アクチュエーター側とバルブユニットのOUT側を接続してください。
- ③ 純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をして塞いでください。



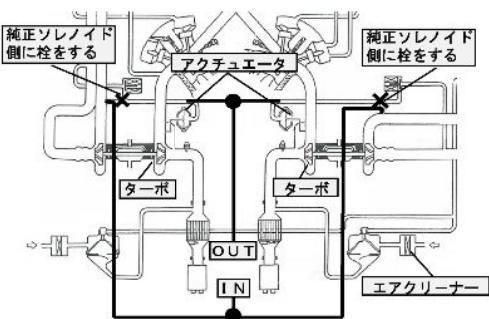
■ RB 25 DET (ECR33/ER34)

- ① 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し純正ソレノイドバルブを取り外してください。
- ② 付属のΦ6を使用してインタークチューブとバルブユニットのIN側を接続してください。
また、アクチュエーターとソレノイドバルブユニットのOUT側を接続してください。
- ③ 純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をしてください。

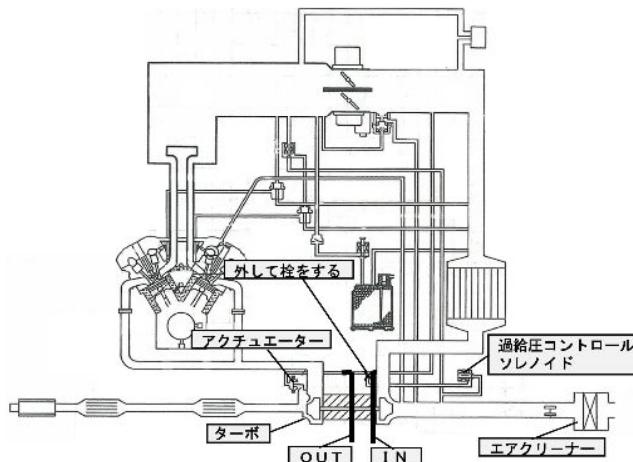


■ VG30DET

- ①2つのターボチャージャーにそれぞれ付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②それぞれのアクチュエータから付属のホースを使用して配管を引き、スリーワイエイを使用して1本にまとめてバルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して配管を引き、スリーワイエイを使用して1本にまとめてバルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④それぞれの純正ソレノイドバルブにつながる配管に栓をしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インタークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。



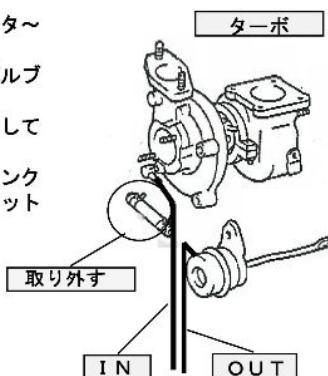
■ VQ30DET/VQ25DET



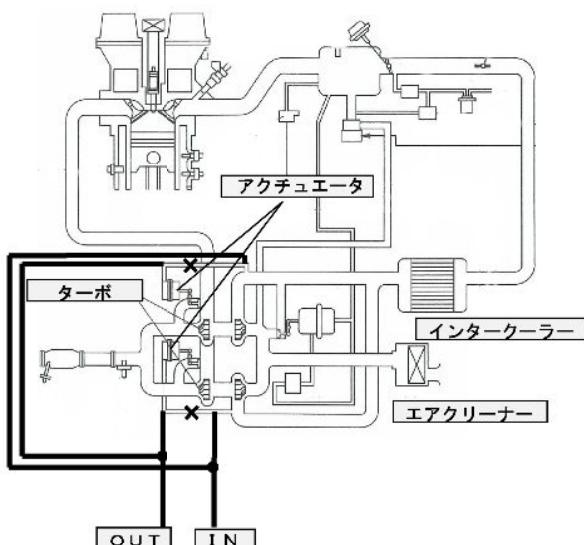
- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④純正の過給圧コントロールソレノイドバルブにつながる配管に栓をしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インタークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管してください。

■ 1 HD-FTE (ランドクルーザー)

- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用してバルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管してください。



■ 1 JZ-GTE (JZX90)

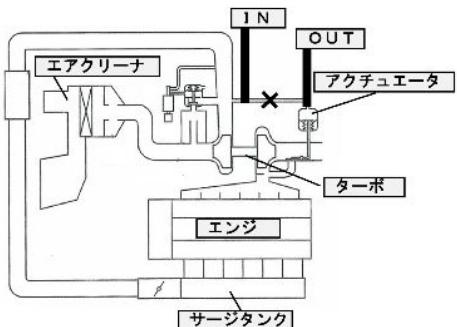


- ①2つのターボチャージャーにそれぞれ付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②それぞれのアクチュエータから付属のホースを使用して配管を引き、スリーウェイを使用して1本にまとめてバルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して配管を引き、スリーウェイを使用して1本にまとめてバルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。

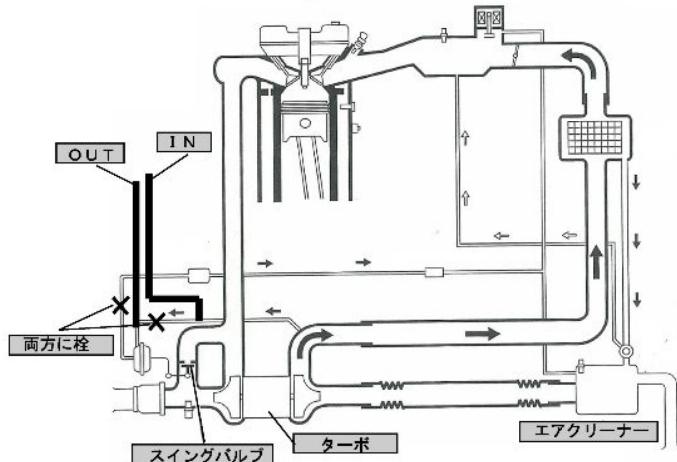
■ 1 J Z - G T E (J Z X 1 0 0 / 1 1 0)

- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管してください。

[アドバイス]
J Z X 1 0 0 / 1 1 0 系には純正のソレノイドバルブはありません。



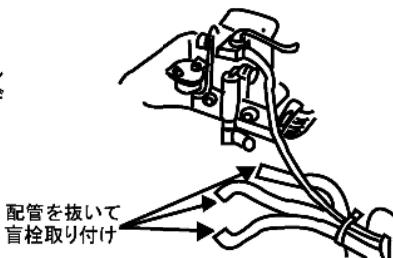
■ 3 S - G T E (S T 2 1 5 / S T 2 4 6 W)



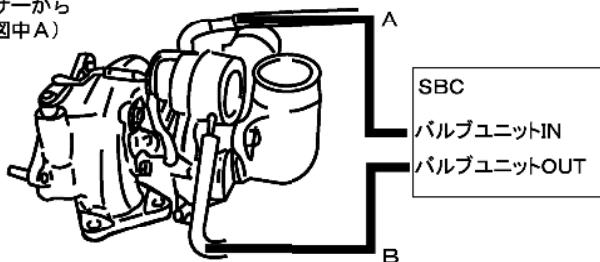
- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④アクチュエータから出ているもう一方の純正配管を適当な場所で切断して、双方にボルト等で栓をし、圧力が逃げないようにしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。

■ EJ20 TURBO (GC8/GF8)

- ① 車両右側ストラット脇の過給圧コントロールソレノイドバルブから3本の配管全てを抜き、それぞれプラグ等を使用して栓をしてください。

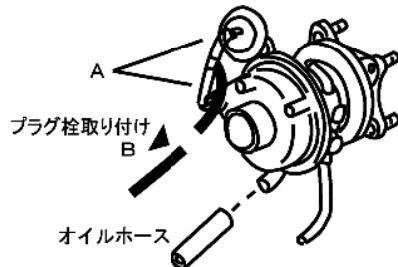


- ② ターボチャージャーのコンプレッサーからバルブユニットのIN側へ配管 (図中A)
しバルブユニットのOUT側からアクチュエーターに配管 (図中B)
してください。



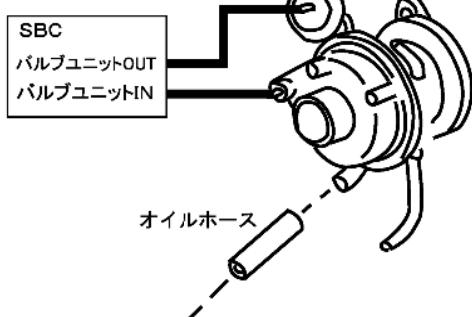
■ EJ20 TURBO (BG5/BH5)

- ① エンジン左側プライマリーターボチャージャーのコンプレッサーとアクチュエーターを繋ぐ配管 (図中A)を取り外してください。
中間に過給圧コントロールソレノイドへの3WAYがありますが一緒に取り外してください。



- ② (1) で取り外した3WAYから出ているソレノイドバルブに繋がる配管をし (図中B) コンプレッサーからバルブユニットのIN側にアクチュエーターからバルブユニットのOUT側にそれぞれ付属のΦ6ホースを使用して配管してください。

ターボチャージャーASSY
(プライマリー側)



■ EJ20 (BP5/BL5/GDB)

- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ

～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。

- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブ

ユニットのOUT側へ配管して下さい。

- ③コンプレッサー部から付属のホースを使用して

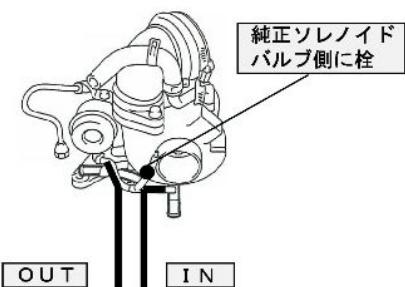
バルブユニットのIN側へ配管して下さい。

- ④純正ソレノイドバルブにつながる配管にボルト等

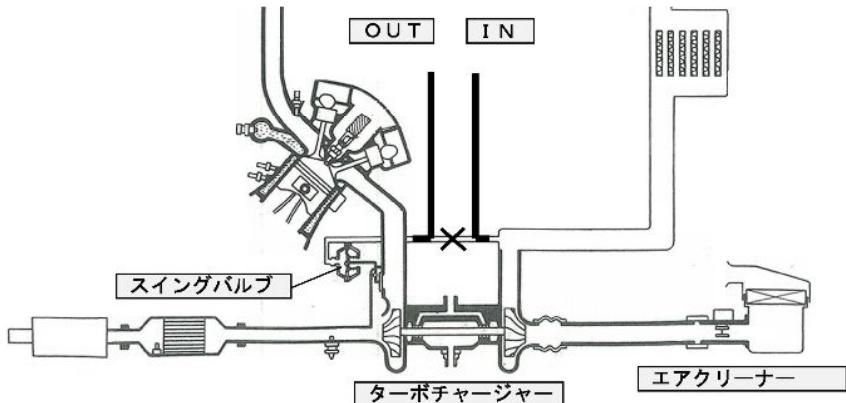
で栓をしてください。

- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク

(インテークマニホールド)圧を室内のCPUユニット



■ RB20DET



- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。

- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。

- ③コンプレッサー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。

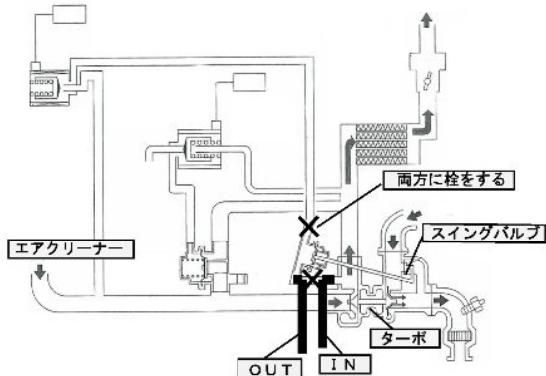
- ④バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク(インテークマニホールド)圧を室内のCPUユニットに配管してください。

[アドバイス]

RB20DETには純正のソレノイドバルブはありません。

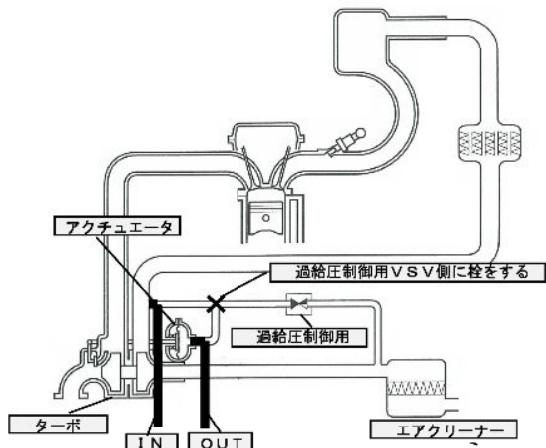
■ K 6 A

- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④アクチュエータから出ているもう一方の純正配管を適当な場所で切断して、双方にボルト等で栓をし圧力が逃げないようにしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。



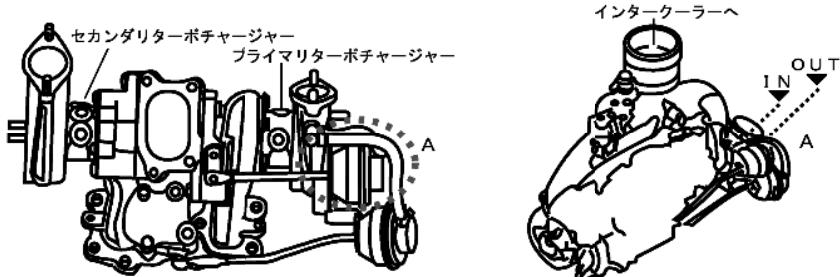
■ J B - D E T / E F - D E T

- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④純正ソレノイドバルブにつながる配管にボルト等で栓をしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。



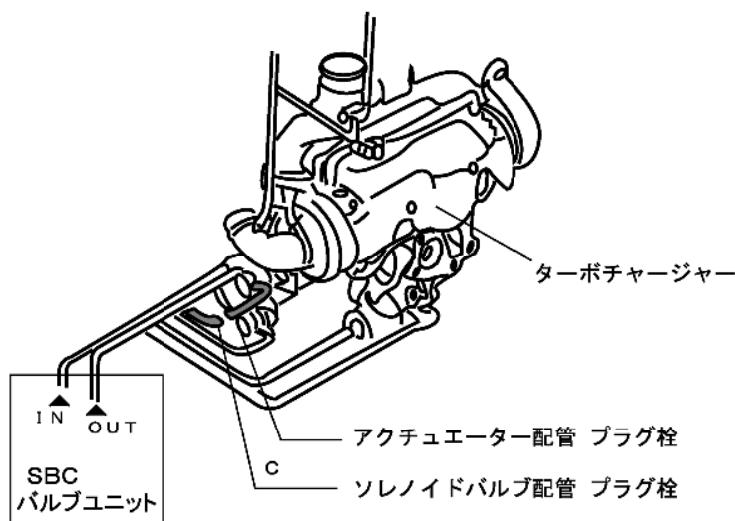
■ 13B-R EW (FD3S)

- ① 純正エアクリーナーBOXを取り外してください。
- ② 車両フロント側のプライマリーターボチャージャーの下に2つアクチュエーターが縦に並んでいます。上側のウェストゲートコントロール用アクチュエーター(図中A)に2本の配管があり、まずコンプレッサーに繋がっている配管(図中B)を外しコンプレッサーからバルブユニットのIN側へ、アクチュエーターからバルブユニットのOUT側へ配管してください。



[注意] 下側のアクチュエーターには配管しません。

- ③ 次に2. のウェストゲートコントロールアクチュエーター(図中A)から出ているもう一方の配管(図中Cソレノイドバルブに繋がる配管)をカットして栓をしてください。



- ④ 純正の過給圧コントロールソレノイドのコネクタは2個とも抜いて機能しないようにしてください。

－故障と思う前に－

本製品が正常に動作しない場合には、下記を参考に再度症状の確認と不具合の修復を試みてください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	電源線が接続されていない スプライス等配線加工箇所の接触不良 アース線の不良 コネクタがしっかりとささっていない	+12Vをテスター等で再確認 接続箇所をテスターで再確認 接続場所の塗装や錆を除去 コネクタをさしなおす
ブースト制御不能	AC/GTの選択間違 バルブ配管がIN/OUT逆 ホースの抜けや割れによる圧漏れ インテークマニホールド圧が入力されていない ソレノイド駆動電圧不足	各種設定変更にて再設定 バルブ配管を確認し、正規の状態に戻す 確実に固定する、またはホースを交換する CPUユニットへインテークマニホールド圧を入力する IGN-ONから通常走行時でもしっかりと+12Vかかる場所から再度電源を取り直す
ブーストが上がらない ブーストが不安定	タービンの限界（容量不足） エンジン効率の限界（ターボとの相性） アクチュエータの特性 ウエストゲートのストローク不足 ウエストゲートの容量不足	ハード的な要因が強い場合はコントローラーでの制御では不可能です。取り付け前の車両の特性を考慮して、調整可能な範囲において再度設定を行う
	ツインターボの場合、片側のみしか動作していない、もしくはプライマリセカンダリの片側のみの動作	純正VSVの機能が生きている場合は機能を殺してみる 再度配管を見直す
	リミッタ機能が働いている スクランブル機能が働いている GAIN、P-GAINの上げ過ぎ	リミッタ機能をOFFにする スクランブル機能をOFFにする GAIN、P-GAINを下げる
ワーニングがいつも働く	設定値が低すぎる オーバーシュートで発生する	設定値をブースト設定よりも高くする DUTY、GAINを低く設定する ワーニングのポイントを少し高く設定する

■製品の初期値

制御チャンネル	:	L O
DUTY	:	10
GAIN	:	5
P-GAIN	:	0
AC/GT制御切替	:	A C
ブースト圧単位	:	h k P a
バックライト明るさ	:	10 (最大)
スクランブル	:	O F F
ワーニング	:	O F F
ブザー	:	O N

－お問い合わせ先－

■品番と製品名称

品番：15039
品番：15040

製品名称：SBC TYPE R
製品名称：SBC TYPE S

■製品についてのお問い合わせ

連絡先：株式会社 ブリッツ
所在地：〒202-0023
東京都西東京市新町4-7-6
TEL：0422-60-2277
FAX：0422-60-0066
URL：<http://www.blitz.co.jp>

■発売元

発売元：株式会社 ブリッツ
所在地：〒202-0023
東京都西東京市新町4-7-6
取扱説明書番号：15040001
初版作成年月日：2011年12月9日

— MEMO —

— MEMO —

— MEMO —

BL^ZTZ

Since 1981, Blitz has revolutionized the
automotive industry by tuning every aspect
of the motor vehicle